事例No.	2771
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	KITO DESIGN HOLDINGS株式会社

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・歳入確保

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

KITO DESIGN HOLDINGS株式会社によるKITO DESIGN PROJECT

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



KITO DESIGN HOLDINGS株式会社によるKITO DESIGN PROJECT

KITO DESIGN HOLDINGS株式会社

（きとうでざいんほーるでぃんぐす）

DATA

事　例　名：KITO DESIGN PROJECT
所　在　地：徳島県那賀郡那賀町木頭和無田字イワツシ5-23
連　絡　先：TEL:0884-64-8088
　　FAX:0884-64-8884
　　E-mail:office@kito-dh.jp
ホームページ：https://kito-dh.jp

取組の概要

KITO DESIGN HOLDINGS株式会社が拠点を置く那賀町木頭地区は木頭杉や木頭柚子で栄えた地域であったが、現在は人口約1,000人、高齢化率約60%、平成26年に発表された消滅可能性都市でも12位に入るなどの限界集落である。この限界集落をもう一度復興させるための活動として特産品の木頭柚子の生産・加工品販売事業から活動を開始。現在では遊休不動産を活用したキャンプ場やゲストハウス、地元の買い物環境改善のため設立したコンビニが世界的なデザイン賞をはじめとした国内外のデザイン賞11冠に輝くなど世界からも注目を集め、地域外の来訪者を倍増させている。

評価された点

●地域の歴史や伝統である木頭すぎと木頭柚子を活かしながら、加工品と観光業で地域の活性化に寄与している。時代を先駆けるデザインである「未来コンビニ」は「世界一美しいコンビニ」に選出され、国内外の評価を集め、地域外からの集客につながっている点を評価。
●近年、新たに注目されている「デザイン」×「地方創生」の最先端の取り組みであり、かつ着実な実績をあげている。従来の農業・地場産業・観光といった地域産業の枠を超えてクリエイティブ系の事業を起こしている点を高く評価。
●地元の柚子を切り口に地域からの理解を獲得し、特産品の開発、村営キャンプ場をグランピング施設にすることで売り上げを拡大、コンビニの経営による雇用創出等、多角的に事業を展開し地域活性化に寄与している。今後の活動として空き家をゲストハウスにするなど将来性もあり、持続的な取り組みとして他地域にも参考になる事例である。
●限界集落の可能性を大いに引き出す「攻め」を感じる取り組みである。この事業のコンセプト「子ども」「未来」「可能性」のとおり、街が未来に続く継続的な事業となってほしい。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ
旧木頭村出身の代表 藤田恭嗣氏が古里への恩返しを決意し、木頭柚子の生産・加工販売会社「黄金の村」を設立。

2013年～
・基幹産業である木頭柚子を軸とした地元復興と雇用創出のため設立。

株式会社黄金の村設立・加工場完成
・木頭の基幹産業である木頭柚子の栽培から加工品販売会社を設立。地元雇用を創出し、農家の収入増につなげるため、買取りも行う。



2017年～

「KITO DESIGN HOLDINGS株式会社」を設立
・各事業体を法人化し、ホールディングス化をすることでファイナンスや事務の効率化を図り、グループの統率を行う。

2018年～
・地域に宿泊施設がなく、閉鎖して未使用のキャンプ場をリノベーション。
・まちから土地を無償提供。

CAMP PARK KITOオープン
・閉鎖されたキャンプ場を借受け、グランピング施設へリノベーションを行い、地域で唯一の民間宿泊施設を運営。



2020年～
・買い物弱者支援と地元の子どもたちの交流や学びの場の提供。
・まちから土地を無償提供。

未来コンビニオープン
・買い物弱者支援と地元の子どもたちへ学びの場の提供を目的に未来コンビニをオープン。
・2021年に国際的なデザイン賞など10冠に輝き「世界一美しいコンビニ」として注目を浴びる。





2022年～
・空き家を改装しワーケーション施設として活用。

ゲストハウス「Next Chapter」オープン
・空き家であった旅館を改装し、ワーケーションにも対応のゲストハウスをオープン。



今後の展望
・キックボクシング道場の開設による高齢者を初めとした地域住民の健康増進を図る。
・移住体験ができるワーケーション施設や住環境や娯楽施設の整備。

受賞者のコメント

栄誉ある賞をいただき大変光栄に思います。
木頭は、環境問題・人口減・少子高齢化など日本の社会課題が凝縮された地ともいえます。そんな故郷が、住民の方々がずっと笑顔でいられる幸せな場所、子どもたちが「また戻ってきたい」と思える場所として輝き続けてほしい。その一心で、地域に何が必要か・未来はどうあるべきかを考え地域全体を設計してまいりました。
その挑戦を、10年の節目でこのように評価いただけたことを大変嬉しく思います。
これまでお近くで支援いただきました地域住民の皆様や行政関係者の皆様へ、心よりの感謝とともにこの賞をお届けしたいと思います。